

Q&A (仮)新揖保川大橋の建設及び竜野駅周辺整備事業について



永富 靖 議員  
YASUSHI NAGATOMI



(仮)新揖保川大橋の建設について

**問** 龍野インターチェンジ周辺のまちづくりが本格化し、周辺の道路も整備されているが、龍野インターチェンジ周辺の東西、特に西方面のアクセスは、龍野新大橋と国道2号の正條橋だけである。龍野新大橋は日頃から渋滞が多発していることから、龍野新大橋と正條橋との間に新揖保川大橋の建設が必要と考えるが、どのように考えているのか。

**答** 道路交通網の形成、防災、流通の観点から、整備の効果は非常に大きいものがあり、市の活力を生む源であると考えている。「龍野インターチェンジ周辺まちづくり区画整理事業」により、どのよう周辺環境が変化し、どのような交通量配分になるかを見極め、新

橋建設について調査研究している。

竜野駅周辺整備事業について

**問** 平成28年から始まった竜野駅周辺整備事業は、合併特別債を活用した事業でもあるが、関連する公共施設が整備され、徐々に形となってきた。駅北ロータリーの供用開始の予定はどのようになつており、駅前南線道路は、計画どおり令和5年度中には完成し供用開始できるのか。

**答** 駅北ロータリーについては、令和5年秋頃の完成、供用開始できるように進めていく。竜野駅へのアクセス道路となる竜野駅南側の3路線について、事業用地の取得が完了し、神戸黍田公園北側から県道中島揖保川線を結ぶ東西に延びる400メートルの道路の内、約100メートルの区間については令和3年4月から供用開始している。残る区間については、令和5年度中に供用開始できるように進めていく。また、竜野駅南側の駅前ロータリーについては、令和7年度末の完成を目指している。

利用されていない公有財産の有効活用

**問** 用途廃止された土地や建物は地域の理解のもと民間による有効活用を図るべきと考えるが、売り払いの実績と展望を伺う。

**答** 一般競争入札及び随意契約により、平成29年度から令和3年度までの売り払いは9回実施し売却面積は14筆、8621平方メートルで、4718万円の売却代金である。今後の展望については一般競争入札に加え、保有地の大部分が市街化調整区域に位置し、売却後の活用が規制を受けることから、購入希望者からの提案による公募型「ポポー」方式により、地域の活性化につながる利活用を促進するとともに自主財源の確保に努めていく。



野本 利明 議員  
TOSHIAKI NOMOTO



利用されていない公有財産の有効活用

Q&A 公有財産の管理について/学校や子ども園、保育所の危機管理

**問** 3月1日、埼玉県戸田市の中学校で不審者が侵入し教員がナイフで切りつけられ重傷を負うという事件があったが、それを受けての対応や日頃の訓練について伺う。

**答** 今回の報道を受け、翌日には危機管理マニュアルの再確認、及び県警ホットラインの確認、その他安全整備の確認を速やかに実施するよう通知したところである。不審者を想定した訓練については、近年実施率が下がっているが、来年度には全ての学校園で実施できるよう指導していく。

**問** 各学校園の防犯カメラの設置状況を伺う。

**答** 防犯カメラは小学校16校中8校、中学校5校中4校、子ども園、保育所12園全てに設置している。設置できていない小中学校については、順次設置を進めている。子供たちにとってより安全・安心な学校園生活を送れるよう、必要な環境整備に取り組んでいく。

学校や子ども園、保育所における不審者侵入時の危機管理

その他の質問事項  
●旧県宮崎崎住宅跡地の再開発